

地域のよさを住民主体で磨き続ける 長野県小布施町へ行きませんか？

千曲川東岸に位置する人口約1万人の長野県小布施町は、「栗と北斎と花のまち」として親しまれています。舟運が発達した江戸時代には交通と経済の要所として栄え、葛飾北斎や小林一茶をはじめ、多くの文人墨客が訪れました。古くから製造されてきた栗菓子などの特産品や、地域で育まれてきた独自の文化が現在の町に自然と溶け込み、活かされています。同町では、住む人も訪れる人も幸せになれるまちづくりの一環として、自宅の庭を来訪者に公開し、楽しんでもらう「オープンガーデン」などの取り組みが注目されています。



▲オープンガーデンの取り組み



- ◆対象 現在女川町内で下記テーマの活動に携わっている方、これらの活動に関わっていきいたい方
- ◆日程 10月15日(月)～16日(火)
- ◆テーマ 住民主体のまちづくり、景観まちづくり、緑のまちづくり、遊び場づくり、地域資源の発掘
- ◆費用 研修費2,000円(飲食代等は個人負担)
- ◆募集人数 6名程度(先着順)
- ◆申込締切 9月14日(金)午後5時
- ◆申込み先 女川町まちづくり推進協議会事務局(担当:山下)
☎54-3131内線292

インタビュー

集合住宅でもできる！花と緑で彩る新たな暮らし

女川住宅(女川北区)にお住まいの大壁よし子さん(写真右)。室内の観葉植物や、共同花壇ではローズガーデンなどを作り、楽しんでいます。みなさんも、暮らしにおける植物の楽しみ方の参考にしてみてはいかがでしょうか。



●おうちで育てている植物を教えてください

花壇では、野菜と花をさまざま育てています。また、自宅の室内では主に観葉植物、ベランダでは花などをプランターに植えています。

●育てるうえで心がけていることは何ですか？

花は外で日をいっぱい浴びせ、観葉植物は室内で育てています。手をかければかけるほど、植物は応えてくれますよ。あと、やはり花や野菜を育てるためには土づくりが大切です。

●暮らしの中で植物を楽しむ工夫とは？

花壇で育てたバラを切り花にしてダイニングで鑑賞したり、観葉植物の寄せ植えや育てたものをドライフラワーや小物にして飾っています。薬味になるシソは、ホヤに和えて利用しています。仲のよいお店の花壇の手入れを手伝うなど、交流も生まれています。植物はさまざまな楽しみ方がありますね！



先月号で紹介した意見交換会で出たアイデアを早速、実践。子育てママが考えるまちなかの遊び場実現への第一歩として、7月19日にフューチャーセンターカマ入前芝生広場におもちゃなどを置き、集まった7組14名で遊んでみました。

参加者のみなさんが主役となり、町の楽しみ方、新しい遊び方を考え、体験してみようという試みとして、今後アイディアを共有しながら定期的に集まる予定です。LINEグループの仲間も募集中ですよ！

●みんなの遊び場づくりプロジェクトが開始しました

結果報告



活動の告知など、まち活通信に掲載したい情報があれば、お気軽にご連絡ください！

◆発行・問合せ先 女川町まちづくり推進協議会事務局(役場復興推進課復興調整係)
☎54-3131内線291 メールアドレス: fukko7@town.onagawa.miyagi.jp
○まち活フェイスブック まち活@おながわ で検索